

TOY BOX

- 夢や希望そして未来がいっぱい詰まったおもちゃ箱 -

Vol. 28



大阪珈琲商工組合

All Japan Coffee Roasters Association

大阪珈琲商工組合 令和4年度第74回通常総会

令和4年11月9日に大阪珈琲商工組合の第74回通常総会が神戸メリケンパークオリエンタルホテルで開催されました。今総会出席者は来賓1名、組合員13名、事務局1名の計15名の参加となりました。

島野専務理事の司会進行で西埜理事長の開会挨拶に続き、全日本コーヒー連合会鈴木専務理事にご祝辞を頂きました。その後、西埜理事長が議長に選出され、総会議題の審議を計りました。



第1号議案：令和3年第73期事業報告及び決算関係書類承認の件

第2号議案：令和4年第74期事業計画、収支予算並びに経費の賦課金及び徴収方法

第3号議案：令和4年第74期借入金最高限度額決定の件

第4号議案：令和4年第74期1組合員に対する貸付及び債務保証の件

第5号議案：令和4年第74期役員に対する報酬の件

第6号議案：理事及び監事選挙の件

以上の議案審議は全ての内容が提案通り承認可決されました。

議案審議終了後に、この総会で理事長を退任される西埜氏へ組合顧問就任を要請し受諾していただき、最後に島野専務理事から顧問に就任された西埜氏への感謝の言葉で閉会となりました。



総会後の懇親会は、兵庫県珈琲商工組合様にお世話をいただき京都珈琲商工組合様との3組合の合同で開催されました。兵庫組合様12名、京都組合様11名、大阪組合14名、3組合の賛助会員様27名の合計66名の賑やかな懇親会となりました。ご来賓の大阪府喫茶飲食生活衛生同業組合理事長の荻原様、大阪珈琲商工組合賛助会会長の石脇様からもご挨拶をいただきました。宴会ではブラジルサンバチームの出演もあり大いに盛り上がり3組合の連帯が深まる時間となりました。



結びになりますが、西埜前理事長は6期12年にわたり理事長として素晴らしいリーダーシップを発揮され組合に多大なる実績と風通しの良い組合風土を作り上げられました。理事を代表いたしまして改めて御礼申し上げます。

この流れを継続し、より以上発展できるよう理事一同力を合わせて参りますので、今後とも顧問として大阪珈琲商工組合にご指導をよろしくお願い申し上げます。

大阪珈琲商工組合 理事長 高尾武彦

一般社団法人全日本コーヒー協会 令和5年新春賀詞交歓会

令和5年1月6日（金）正午より、ANA クラウンプラザホテル神戸にて、一般社団法人全日本コーヒー協会、新春賀詞交歓会が盛大に開催されました。新年の賀詞交歓会は、令和2年の開催からコロナ禍によって中止が続いており、今回実に3年ぶりの開催となりました。また会場も例年は大阪で開催されていましたが、今回は初めて神戸での開催となりました。



参加者は会員・準会員・賛助会員など合計で約190人となりました。来賓として、農林水産省 近畿農政局 次長の渡辺 裕一郎氏、同経営・事業支援部 食品企画課 課長補佐の長谷部 勝氏、一般社団法人全日本コーヒー協会 元会長の石光輝男氏、全日本コーヒー公正取引協議会 常務理事の西野 豊秀氏にお越しいただきました。開催に先立ち、全日本コーヒー協会 会長 萩原孝治郎氏より挨拶を頂戴しました。まずは笑顔で新年を迎えられたことを大変嬉しく思っておりますと語られ、昨年のコーヒー相場高騰と急激な円安、今年のコーヒー業界の飛躍と本格的な需要回復への期待、コーヒー抽出後のコーヒーかすのコーヒーグラウンズへの名称変更とSDGsへの活用についてお話になりました。

続いて、農林水産省 近畿農政局 次長の渡辺 裕一郎氏より祝辞をいただき、全日本コーヒー協会副会長 上島達司氏（UCC 上島珈琲株式会社 代表取締役会長）の乾杯のご発声で、賑やかに交流会が始まりました。

参加者の挨拶や歓談も和やかな雰囲気が進み、久々の賀詞交歓の開催で熱気にあふれる中、全日本コーヒー協会副会長 石脇 智広氏（石光商事株式会社 代表取締役社長）に中締めのご挨拶をいただき、また全日本コーヒー協会 元会長の石光 輝男氏（石光商事株式会社 名誉会長）にも檀上にてご挨拶をいただき、お開きとなりました。

広報委員会 副委員長 高岡伸伍

チーズフォンデュdeハンバーグ

味の感動を伝えるー。
エムシーシー食品株式会社
MCC FOOD PRODUCTS CO., LTD.

たっぷりチーズとコーンのハンバーグ



チーズフォンデュソースdeハンバーグ

ゴーダ、ホワイトチェダー、パルミジャーノ・レッジャーノの3種のチーズを使った、チーズフォンデュ仕立てのハンバーグです。

チーズフォンデュソースdeハンバーグ 1個
コーン 90g

チーズフォンデュソースハンバーグとペンネ



チーズフォンデュソースdeハンバーグ

ゴーダ、ホワイトチェダー、パルミジャーノ・レッジャーノの3種のチーズを使った、チーズフォンデュ仕立てのハンバーグです。

チーズフォンデュソースdeハンバーグ 1個
ケチャップ和えペンネ 90g

チーズフォンデュソースで食べる彩り温野菜とハンバーグ



チーズフォンデュソースdeハンバーグ 1個
冷凍ブロッコリー 2個
カットにんじん 1個 さつまいも1個
じゃがいも 1個 紅芯大根1切れ



チーズフォンデュソースdeハンバーグ

ゴーダ、ホワイトチェダー、パルミジャーノ・レッジャーノの3種のチーズを使った、チーズフォンデュ仕立てのハンバーグです。

チーズフォンデュソースで食べるグリル野菜とハンバーグ



チーズフォンデュソースdeハンバーグ 1個
いんげん2本
しめじ 適宜 コーン 適宜
じゃがいも 半分



チーズフォンデュソースdeハンバーグ

ゴーダ、ホワイトチェダー、パルミジャーノ・レッジャーノの3種のチーズを使った、チーズフォンデュ仕立てのハンバーグです。

新規加入の賛助会員のご紹介

会社名	トーエイ工業株式会社
住所	〒146-0095 東京都大田区多摩川 2-18-4
電話 FAX	TEL:03-3756-5011 FAX:03-3756-5409
代表者	代表取締役社長 <small>うねおか</small> 畝岡 達哉
業種	コーヒーマシン他、業務用厨房機器

トーエイ工業株式会社は、世界中の業務用厨房機器メーカーと代理店契約を結び、チェーン展開をする飲食店を中心に良質な業務用厨房機器を販売、メンテナンスを行っております。

主な取り扱い機器は、フライヤー、オーブン、製氷機、エスプレッソマシーン等々で、店舗運営の主要機器として活躍しています。その為、導入前の機器の調整と導入後のメンテナンスには敏速で正確な技術提供に努めております。トーエイ工業のメンテナンス代理店は、日本全国約80社100名を超えて配置され、技術の向上が常に求められております。

創業60年を迎えた今日も、世界から最新の情報を収集して研鑽に努め、お客様にお伝えできる機会を大切にしております。東京に在るテストキッチンが工場に隣接しており、全国から来訪されるお客様と様々な情報交換をさせて頂きながら、最適な機器選出のお手伝いをしております。

安全で安定した機器の提供を通して、日本の食文化をサポートしていきたいと精進を続けます。

よろしく願い申し上げます



トーエイ工業株式会社 製品のご紹介

【BLACK EAGLE MAVERICK】

・最もインテリジェントでユーザーフレンドリーなコーヒーマシン

高次元での温度・抽出管理を可能とし、バリスタが望むエスプレッソ抽出の過程を最大限サポート。最新の精度を可能にする T3Genius テクノロジーをバリスタに提供することで、抽出を完全にコントロール。卓越したパフォーマンスと比類のない効果を実現出来る。

また、“PureBlew” という新しい抽出方法を可能にしたエスプレッソマシーンでもあり、その可能性に期待が寄せられている次世代機でもあります。



【MY】

・WBC (WorldBaristaChampionship) 2022～2025 のオフィシャルグラインダー

WBC ではトップバリスタの競技をこの MY75 がサポートしています。

コーヒーの完璧なグラインディングを目指し設計されており、使いやすさ・性能、あらゆる角度からユーザーが求める理想のグラインダー像を実現しています。CLIMA PRO という機能によってブレードの温度を管理し、一貫性のとれたグラインディングを可能としています。

MY は4バージョン。85MM ブレードは効率よくグラインディング。グラビイメトリックバージョンは、スケール機能を搭載し、ドースを計量出来き、コーヒーロス可能な限り減らす事が可能。バリスタやロースターの目的にあわせたグラインディングパフォーマンスが実現できます。



大阪珈琲商工組合 組織強化委員会主催

《ステップアップセミナー》

令和5年3月15日（水）午後1時半より『ステップアップセミナー』と題して大阪産業創造館に於いて、大阪組合員26名、同賛助会員4名、京都組合3名、兵庫組合2名、そして喫茶組合3名、その他4名 計42名の方が参加され、3年ぶりとなった本セミナーは大阪珈琲商工組合 高尾理事長の開会のご挨拶によりスタートしました。

今回は2部制となっており、まず第1部は企業のホームドクターとして人事と組織の課題を教育と採用でサポートしておられる株式会社ジェイック 常務取締役 近藤浩充氏を講師としてお迎えし、数々の歴史的ベストセラーの著者【デール・カーネギー】氏の代表作であり、国内1,000万部突破の「人を動かす」を元に構成されたトレーニングプログラムを抜粋し、コミュニケーション&リーダーシップ研修として「人を動かす30原則」を3段階に分けてご講義頂きました。



【組織におけるコミュニケーションの必要性】



企業や組織において、人間関係を構築しコミュニケーションを円滑に行う事は最も重要なポイントであると言う事を軸に上司、部下、取引先とそれぞれの関係性や状況に応じて他者とのつながりを持ち信頼を築く基礎として、30の項目を実践すべく、ロールプレイとして参加者同士が1対1で自己紹介と本日の目的などを手短かに話し、名前を伝え、マスク越しではありますが、笑顔で関心を持って人の話を聞き、良い聞き手となる事を実践しました。



しっかりとした人間関係が構築されることで、様々な事で協力を得ることが可能で

あり、リーダーシップを発揮する事で、人としてお互いの成長に繋がり、日々の不要なストレスを減らし、人を動かす。自身も文字通りステップアップ出来る事で組織としての礎を築く端緒を掴むと言う目的に達するのかと思いました。

その後は〔30の原則〕は勿論ですが、人の名前や会話の内容を記憶するという事をテーマに記憶力を高めるトレーニングとして、〔メモリーリンクング〕についてお話頂きました。テストは7つの名詞を覚えて行くと言う事ですが、脳の中で大げさな絵として想像し、1つずつをストーリーとしてリンクさせていくと言う手法で、とても楽しく面白いストーリーが出来上がり全員しっかり記憶出来ました。

名札 → シンデレラ城 → 赤ちゃん → 鞆 → プロペラ機 → ラケット → 電球

参加者の皆さん、覚えておられるでしょうか？

(欠席された方、覚えて見て下さい・・・)

今回のステップアップセミナーでは、人と関わり、人に優しく、人から学び、そして自分自身を理解し、自信持つと言う事。そう言った関わり方が次の世代からまた次の世代へとペイフォワードする事が大切であると再認識しました。いつまでも沢山の人と接し、学びを心掛けたいと思います。

講師を務めて頂きました株式会社ジェイック 常務取締役 近藤様有難うございました。

続いて行われました第2部では石光商事株式会社 高野雅信様より〔コーヒー市況〕についてご講義頂きました。約2年に亘る激動のコーヒー相場についてと現在の不確定要素が多く、動きが激しい相場状況、そして今後についての予測等、大変参考になる貴重なお話を頂き、有難うございました。

厳しい状況が続きますが、しっかり対応していきたいと思います。

最後に今回3年ぶりとなりました〔ステップアップセミナー〕開催に向け、ご尽力を賜りました大阪珈琲商工組合 活動強化委員会 檜垣委員長はじめ委員会の皆さん、事務局の溝淵さんも有難うございました。

参加者の皆様、熱心に視聴されとても有意義な時間となりました。

尚、今回ご説明頂きました著書「人を動かす」に30の項目が詳しく書かれていますので、是非ご一読下さい。

広報委員会 副委員長 森野 昌子

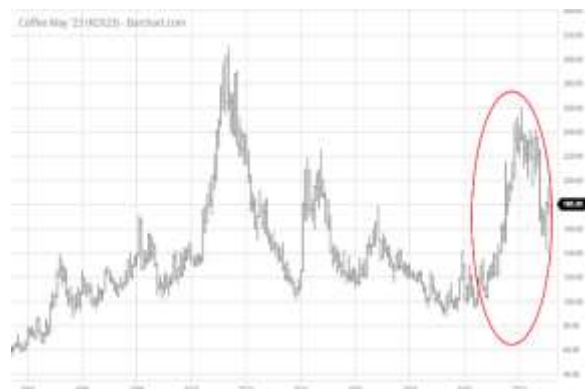
コーヒー市況

《アラビカのコーヒー相場は激動の2年》

過去3年のコーヒー相場のチャートです。2020年までの低いレンジから2021年7月ブラジルで霜害が発生、相場が高騰し、その影響で生産量の減産予想となり、投機筋の介入により、高値が続きました。

その後、2022年10月にブラジルの生育が良好との情報により少し下がったものの23/24クロープ生産量の下方修正やブラジル現物価格の高騰から認証在庫の取り崩しが発生し、相場は180¢付近まで戻しています。

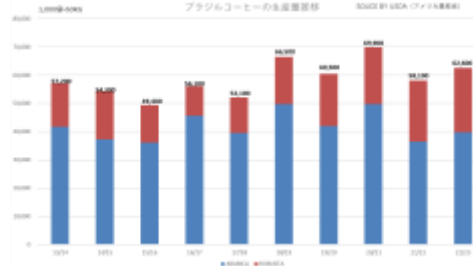
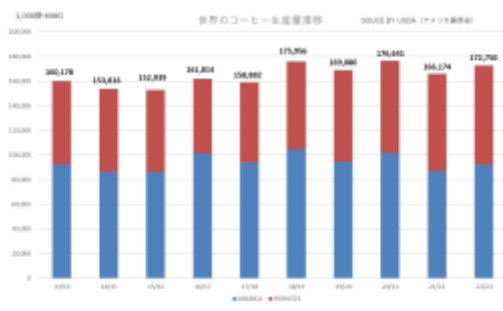
過去20年のチャートを見ても直近2年の相場が如何に高相場であったかが伺えると思います。



《2022/23年度の世界のコーヒー生産量は増加傾向》

世界のコーヒー供給の推移（過去10年）は、年ごとに上下していますが、ベースの部分では増産傾向にあると思います。特にロブスタに関しては年々増加しており、アラビカの生産量が全体の増減を決めます。

ブラジルの生産量の推移（過去10年）も世界の推移と同じような傾向である事が見て取れます。コーヒー生産量の約35%を占めるブラジルの動向が世界の供給に大きな影響を与えていると言えます。



《2023/24年度のブラジル生産量はビッグクワップの期待があるが、当初予想よりも少ない?》

1月に発表されたブラジル農務省のレポートによると前年より増産ではあるが、民間トレーダー程の増産割合ではありませんでした。

その後下方修正を行っており、期待していたほど多くないという状況に相場は反応しており、現状では少し底堅い相場を展開しています。

★ブラジルコーヒーの生産量予想

単位：千袋 /50KG

	22/23					23/24			
	USDA (米農務省)	CONAB (ブラジル農務省)	民間トレーダー-A	民間トレーダー-B	民間トレーダー-C	CONAB (ブラジル農務省)	民間トレーダー-A	民間トレーダー-B	民間トレーダー-C
TOTAL	64,300	53,400	61,900	60,400	63,600	54,944	75,600	69,100	72,600
アラビカ	41,500	35,700	38,900	37,300	40,600	37,435	52,400	45,400	48,600
ロブスタ	22,800	17,700	23,000	23,100	23,000	17,509	24,200	23,700	24,000



★生産量予想2023年3月現在

単位：千袋/50KG

	23/24		
	民間トレーダー-A	民間トレーダー-B	民間トレーダー-C
TOTAL	69,900	67,100	70,800
修正値	-6,700	-2,000	-1,800
アラビカ	45,930	43,400	45,600
修正値	-6,470	-2,000	-1,000
ロブスタ	23,970	23,700	25,200
修正値	-200	0	1,200

《ブラジルの農家はコーヒー豆をホールドしており、原料価格が高止まり》

概ね相場の動きと連動して推移しておりますが、11月以降、原料価格が高止まりしており、相場が下げ基調にも関わらず、連動しない動きとなっております。

オレンジ→アラビカ相場 ブルー→原料価格



《日本港湾在庫に関しては潤沢ではなく、フリー玉が少ない》

日本のコーヒー在庫量は2022年5月をピークに右肩下がり減少しています。

特にブラジルの在庫減が堅調であり、商社もフリー玉を持っておらず、オファーが出づらい状況になっています。



《今後の相場のポイント》

1. 2023/24年度のブラジルコーヒー生産量が増産予想であり、天候が順調であれば世界の需給は供給>需要となる?
2. ブラジルに異常気象(早魃、霜)が発生した場合、シナリオが変わる可能性も・・・
3. 直近の需給は供給<需要と言われており、在庫のタイト感がどの程度相場に影響してくるか?
4. 世界の景気悪化によるコーヒー需要の減退がどの程度なのか?

現段階では不確定要素が多く、動きの激しい相場を予想

《ステップアップセミナー》 第2部 コーヒー市況 (資料より抜粋) 講師 石光商事株式会社 高野 雅信 様

TEAM EXPO 2025 共創チャレンジ

昨年、関西万博に向けた取り組みの一環で SDGs共創チャレンジという企画に大阪珈琲商工組合が中心になり取り組んで参りました。

SDGs とは



SDGs とは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称で、2015 年 9 月に国連で採択された 2030 年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で 17 の目標と 169 のターゲットで構成されています。

我々、大阪珈琲商工組合はコーヒー焙煎業者の組合です。組合員は経営者の立場であることから持続可能な社会の実現という枠の中の持続可能な経営という視点の中で SDGs を捉えると、現在進行中の組合員の経営の中にたくさんの持続可能性に繋がる取り組みがあることに気づかれると思います。

美味しいコーヒーを日夜懸命に作り出されている組合員の皆様は、コーヒーの持つ素晴らしい風味特性によって社会に良い影響を与えておられます。これこそが私たちの基本中の基本で持続可能な社会の実現に対して大きく貢献していることだと確信します。

この素晴らしいコーヒーを社会に提供することを持続的にしていくために社内でどういう取り組みをしているのか、或いは今後、どういう取り組みが必要なのかということが 2030 年に向けて具体的に意識を持って整理し実行していくことが重要であると学習しました。

コーヒーは自然環境に大きく影響される農業から生み出されるコーヒーチェリーという果物の種子です。自然を破壊することなくその自然と共存する農業の中で生み出されるコーヒーチェリーという果物、この果物が持続可能性を持つ農業の中で生み出される必要があります。

私たちは主に消費する立場の国に存在するので、直接その農業に関わることはできません。

しかし間接的にその農業に関わり、影響を与えるにはどうすれば良いのかということを考えることはできると思います。共創チャレンジによってまとめられた以下の SDGs宣言は、先ず経営の糧であるコーヒーそのものが生み出されるコーヒー生産国の持続可能性に興味を持つことが重要ではないかと考えます。

SDGs 宣言

「おいしいコーヒーを次の世代にも」

コーヒーには 2050 年問題があります。2050 年問題とは、地球温暖化により世界で消費されるコーヒーの約 7 割を占めるアラビカ種の栽培に適した土地が半減するという問題です。我々は SDGs に 賛同するとともに、地球温暖化防止のため、CO2 削減に取り組んでいきます。

お客さまに選んでいただける会社

【具体的な取組み】

- ・法令順守の徹底 16
- ・経営理念の明文化 8
- ・経営の安定とチャレンジ精神の育成 8,9
- ・顧客のことを第一に考えた行動の実施 8,17
- ・ニーズの多様化に応えるために取扱商品を拡充 8,17



働きがいのある職場作りを推進

【具体的な取組み】

- ・職務や役割に応じた教育体制の整備 4,8,9,10
- ・社員の資格取得支援 4,8,9,10
- ・ハラスメント防止の徹底 5,10
- ・労働時間短縮に向けた取組み 3,8
- ・育児休業・介護休暇の取得推進 3,5
- ・性別や年齢を問わない公平な採用 8,10
- ・女性活用 5
- ・社員の健康維持に向けた取組み 3,8
- ・健康診断の定期受診の徹底 3,8



コーヒー産地から消費者まで持続的な関係の構築

【具体的な取組み】

- ・サステナブルで環境に配慮してコーヒー農園の認証コーヒーの取り扱い 1,2,3,12,13,17
- ・安心・安全なコーヒーの提供 1,2,3,12

- ・フェアトレードの実施 1,2,3,10,12,13,17
- ・環境に配慮したパッケージの活用 12
- ・賞味期限の延長 2,12
- ・自社農園での排水処理 1,2,12,13
- ・抽出後のコーヒー粉(コーヒーグラウンズ)の活用 12,13
- ・麻袋の再利用 12,13
- ・シルバースキンを活用した名刺・ペレットへの再生 12,13
- ・収穫年、焙煎日の開示 12,17
- ・トレーサビリティの開示 12,17
- ・生産者を意識したコーヒーの価格設定 1,2,3,10
- ・ブラジルでの農園開発 1,2,3,10
- ・パートナーシッププロジェクトへの参加 17
- ・ウーマンズコーヒーの取り扱い 1,2,3,10,12



環境への配慮

【具体的な取り組み】

- ・LED照明の設置 7,9,13,15
- ・廃棄物の分別徹底とリサイクル推進 7,9,13,15
- ・再生可能エネルギーの活用 7, 9
- ・省エネ設備の取扱い 7,9,13,15
- ・エコドライブの徹底 7,9,13,15
- ・再生紙の利用や節電などのエコ活動の徹底 7,9,13,15
- ・ハイブリッドカー、EV 車の利用 7,9,13,15
- ・環境省のオンラインセミナーへの参加 7,13
- ・環境報告書の作成 7,13
- ・動物愛護団体への寄付 13,15



地域社会への貢献

【具体的な取組み】

- ・地元人材の積極採用 8,10
- ・卸売を通して、地域産業の発展を支援 8,9,17
- ・シニア人材受入れのための延長雇用制度 8,17
- ・職場体験の受入れ 8,9,12,17
- ・地域イベントへの協賛 17

- ・コーヒー教室の実施 12,17
- ・企業見学の実施 12,17
- ・里山の再生 12,17
- ・アフリカの母子健康プログラムを実施している産地のパッケージデザイン 10,17
- ・授業の一環としてのフェアトレードのコーヒーを使つての社会体験 10,17
- ・コーヒー教室の開催 9,12,17
- ・社会福祉センターでのコーヒー教室の開催 8,12,17



パートナーシップへの取り組み

【具体的な取組み】

- ・地域社会への参画 17
- ・組合活動への参画 17



SDGs 達成に向けてのこれからの取組み

- ・ジェンダーレスのコーヒー業界を作る。
- ・労働時間の短縮
- ・若者がコーヒー業界で働きたいという環境作り
- ・製造過程で出るシルバースキンなどの廃棄物をバイオコークスにする
- ・抽出後のコーヒー粉(コーヒーグラウンズ)のプラスチック等への取組み
- ・ゼロエミッションへの取組み
- ・カーボンニュートラルの公的な認証への取組み
- ・脱炭素宣言
- ・コーヒーの持続可能性に対する取組み
- ・コーヒーの付加価値の向上
- ・産地の人たちの貧困をなくす
- ・産地に貢献できる商品の開発
- ・組合として他社の取組みの紹介
- ・組合として抽出後のコーヒー粉(コーヒーグラウンズ)の回収ルールの確立
- ・中小企業でも取り組める情報提供
- ・地球温暖化対策に取り組む

大阪珈琲商工組合 専務理事 田代和弘

2022年度 全日本コーヒー公正取引協議会 研修会

2023年3月9日(木)13時30分より大阪会場にて研修会が開催されました。コロナ禍ではありますが対策を講じ、久しぶりのリアル研修会となりました。

東京会場(3月6日(月))・名古屋会場(3月8日(水))と大阪会場(3月9日(木))の3会場での開催で全日本コーヒー公正取引協議会から西野常務理事により説明が行われました。



今回の大阪会場、セミナーには47名が参加、熱心に聴かれています。

まずは、「全日本コーヒー公正取引協議会を巡る動向」から消費者庁の優良誤認表示に係る措置命令や課徴金納付命令の厳格化について、実際の例に基づいての説明が有りました。

つづいて、「景品表示法の改正」「食品表示法の見直し」について説明があり、特に食品表示法の見直しの基本的な考え方としては食品表示基準における横断的義務表示事項について「国際基準(Codex 規格)に可能な限り整合させる」方向で順次反映させると説明。現時点でも海外の表示基準はある意味厳しく食料供給のグローバル化に対応する為 Codex 規格や諸外国の食品表示制度と我が国の制度の差異を調べるとともに、必要な見直しを行うというもの。

想定されるコーヒー公正競争規約への影響について、「原材料名」については特段の表示変更は必要ないとみられるが、「食品関連事業者の氏名又は名称及び住所」や「製造所又は加工所在地及び氏名又は名称」は新たに制度化される「ロット識別」の関係で規定が定められるであろう。

また栄養成分の量・熱量を表示する場合、コーヒー抽出液では無くコーヒー粉本体の糖質、飽和脂肪酸、総糖類の量が求められ7項目表示となるかもしれないと説明が有りました。

以降は2022年3月から2023年1月までにコーヒー公正取引協議会に問い合わせのあった事項で参考となる内容の質問を76件紹介されました。その後は質疑応答の時間も非常に解りやすい説明会、研修会でした。

大阪珈琲商工組合 理事 梶川貴史

コーヒー研究委員会主催 「コーヒー勉強会」

日 時 令和5年3月25日(土曜日)

場 所 大阪珈琲商工組合 事務局

テーマ コーヒーインストラクター検定1級合格を目指す

対象者 コーヒーインストラクター検定2級保持の組合員(大阪・京都組合)



3月25日、コーヒー研究委員会主催「コーヒー勉強会」を5年ぶりに大阪珈琲商工組合事務局にて開催致しました。5年前と同様に京都珈琲商工組合と共催となり、コーヒーインストラクター1級合格のための勉強会とし、趣旨は組合員従業員の1級インストラクター不合格者及び2級保持者をいかに合格へ導くかを趣旨に開催致しました。

本年度はコーヒーインストラクター講師の横山講師、岡田講師、与儀講師の3名とお手伝い2名の合計5名を迎え、一部制の15名(保護者1名)の受講者で行いました。

冒頭、コーヒー研究委員会／委員長 丹後の「コーヒー業界発展の為の知識と普段聞けない質問の出来、学べる勉強会であってほしい」という挨拶から始まり、1級実技講習会の難易度の高いカリキュラムを中心に3時間の講義を行いました。

当勉強会は、コロナ渦で4年ぶりの開催となり、コーヒー研究会も意義のある勉強会を久々に開催できたことを非常に嬉しく思っております。

勉強会の内容も非常にレベルが高く、メインの横山講師により大阪珈琲商工組合、京都珈琲商工組合向けの特別授業として、丁寧な説明と様々な角度からのアプローチで工夫が凝らされています。中でも一級講習会では聞けない様々な質問が飛び交い、説明が随所に盛り込まれ、大阪、京都珈琲商工組合向けの講習会は無事終了致しました。



コーヒー研究会では、今回の講習は各企業の社業、従業員のスキルアップに必ず役に立つと信じており、今回の受講生の中から合格者が生まれること、業界発展に繋がる事を願っております。

○カリキュラム内容

1. 1級使用6サンプルの見分け方、カップテスト
サンプルから判る詳細の確認
2. 1級使用ダメージ検出カップテスト
ダメージ品と通常品(良品)の味の差、香りの差の詳細説明。
3. 1級使用配合分析2組
講習会の約2倍の時間を使い、配合分析の難易度の高い点を説明。
4. 包装資材の説明
現物サンプルを使用し、包装資材の理論を説明

大阪珈琲商工組合 常務理事 丹後大志

「ビギナーズゴルファー」

「フォアー！！」私がドライバーショットを打った直後の一緒にラウンドしている皆さんの声です。

数種類あるクラブの中でもっとも私が苦手なのがドライバーで、2ホールに1度の頻度でOBになります。プレイングフォー（前方の特設ティー）がないコースは非常に憂鬱になり、大変お世話になっております。



休みの日や仕事の帰りに練習に行ったり、お客様や友人と年に数回コースを回らせて頂いたり、本格的に練習をされている方に比べれば回数こそ少ないですが、行くたびに改善点などを見つけ、それを克服できた時の喜びを感じながらゴルフを楽しんでおります。

私がゴルフを初めてしたのは約10年前。

当時は他に趣味もあった為、「ゴルフ」に費やす時間が持てなく、もちろん上達することもなく、お誘いを頂いたときのみコースを回る程度で、そこまで関心がありませんでした。ラウンド後スコアが120～130でも今日は楽しい一日だったと満足しており、今考えると、勿体ないことをしたと思います。

それが今ではゴルフは、一度やり始めると夢中になってしまいます。前文にもありますように、練習するたびに改善点が生まれます。そして自分のものにするまで何度も繰り返し、それをコースで発揮できた時、何とも言えない快感、達成感が味わえます。それに加え、身体を動かし汗を流す、姿勢を正す、朝早く起きる。ゴルフを何気

にする中で、健康面に良いことはもちろん、有効な時間を過ごすことができます。一向にうまくなりません・・・。

趣味はもちろん強要するものでもなく、この多様な時代、だれがどんな趣味を持つかは自由です。その中で私はゴルフに出会ったおかげで健康面にもより気を付けるようになり仕事上のコミュニティーの幅も広がりました。

「ゴルフ」は年齢を重ねてもできるスポーツと言われています。今後もこの趣味を続け上達できるように日々の練習を怠らず、もっと楽しめるよう仕事も趣味も精進して参ります。



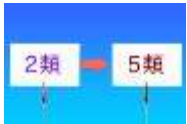
大阪珈琲商工組合 理事 西埜 元庸

大阪珈琲商工組合 年表

●……大阪珈琲商工組合の動き

○……コーヒー業界の動き

◇……社会の動き

2021年(令和3年)	
10月	● 連合会「レギュラーコーヒーフェア2021」をSNSを活用し開催
11月	● 令和3年第72回通常総会開催 シティプラザ大阪
11月	● 大阪珈琲商工組合事務所にて、70周年記念誌座談会
8月	○ 全日本コーヒー協会が設立 40 周年
	○ コロナ禍で喫茶店、カフェのテイクアウト、デリバリーが増加、非接触カフェも話題に
12月	○ ニューヨークコーヒー相場は10年ぶりに250セントを超えるなど高値水準 ブラジル主産地の霜害、世界景気の回復見通し等から、
1月	◇ アメリカ大統領にバイデン氏就任
7月	◇ 1年遅れで東京オリンピック開幕。日本は計8個(金27、銀14、銅17)のメダル獲得
11月	◇ 二刀流大谷翔平選手が満票でMVP
11月	◇ 新型コロナ、世界の死者500万人超
70周年記念誌座談会 	
2022年(令和4年)	
4月	● 大阪珈琲商工組合設立70周年記念誌完成
7月	● 連合会研修会「危機を乗り越え発展するための中小企業支援策活用法の習得」
10月	● 連合会「レギュラーコーヒーフェア2022」をWEBで開催
11月	● 令和4年第73回通常総会 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
	○ ロシアのウクライナ侵攻等による諸物価高騰、国際コーヒー相場は高値水準。急速な円安も重なり 各社、逐次価格改定
	○ 抽出後のコーヒーかすを「コーヒーグラウンズ」へ呼称変更
	○ デカフェ(カフェインレス)コーヒーの輸入量が過去最高を更新
2月	◇ ロシアがウクライナ侵攻
7月	◇ 安倍晋三元首相が銃撃され死亡
9月	◇ エリザベス英女王死去
10月	◇ 円安、資源高で値上げラッシュ
70th 70周年記念誌 完成 	
2023年(令和5年)	
3月	● ステップアップセミナー「人を動かす コミュニケーション&リーダーシップ研修」
3月	● 第6回コーヒー勉強会「コーヒーインストラクター1級取得に向けて」
1月	○ 全日本コーヒー協会「新年賀詞交歓会」3年ぶりに開催
5月	◇ 新型コロナウイルスが感染症法上の分類、2類から5類へ
2類 → 5類 	

編集後記

ついに「TOY BOX Vol.28」が約3年ぶりの発刊となりました!!

今期から高尾前広報委員長より引継ぎ広報委員長を任せられました、田代と申します。

3年近くに及ぶ疫病対策で経済活動も自粛気味になり、組合活動の行事も中止になったりとしておりましたが、昨年末よりの政府の見解の変更により人々の流れが戻ってまいりました。

コロナ禍で中止せざるをえなかった、賀詞交歓会では3年ぶりの開催となり約190名もの参加者で新年を祝う事が出来ました。

また、第74回通常総会におきましては専務理事以外の参加者を迎えての開催ができ、理事長を筆頭に組織の変更が行われました。

数年ぶりに行われたステップアップセミナーやコーヒー勉強会などにも多くの参加者が集まり、企業幹部だけでなく、たくさんの方が学びの場を求めている事がうかがえました。

しかしながら、コーヒー市況の説明では未だコロナ禍の影響が残っており、コーヒー相場への影響はまだ続くようでは予断は許せないとの事です。

企業体質や商品等の国際基準へ合わせていく事も今後重要視されている事も記事より伝わります。

公取協セミナーにて商品ラベルの国際標準への整合の話があり、企業としてはSDGsを踏まえたコンプライアンスの遵守を望まれる環境でもあります。

趣味のお話では、ゴルフについて語っていただきました。

本文中にあります様に趣味は強要するものでも、されるものでもありません。

また、同じ趣味でも楽しみ方のアプローチは人それぞれ、楽しかった一日を過ごせた事が今の充実感に繋がっていったのでしょうかね。

新型コロナが5類に引き下げられ、日常生活もほぼ以前同様に過ごせるようになってまいりました。

ですが、コロナウィルス自体が無くなったわけでもなく、今後は自己責任と言う名のもとに疫病対策を施していかなくなりました。

生活面において、多少窮屈さを感じる事もまだまだ続くかと思いますが皆様に於かれましてはご自愛くださいませ。

最後に発刊におきまして、ご尽力いただいた皆様方への謝意を示して締めさせていただきます。

広報委員会 委員長 田代宜達